

巻頭言

「継往開来」に寄せて ……………島野 健

2021年日本の光学研究

森田遼平 / 榎本雄太郎 / 川口晴生 / 井上伊知郎 / 戸田圭一郎 / チャン・チーウー / 米田 成 / 福井太郎 / 市村垂生 / 高田健太 / 中窪奎喬 / 高澤駿太郎 / 野郷孝介 / 今田 裕 / 金安達夫 / 黒坂剛孝 / 向井 佑 / アイズティリ アプリケム / ジャイルズ アリソン / 林 高弘 / 西辻 崇 / 砂田 哲 / 寺澤英孝 / 万 相 / 別府翔平 / 小林英治 / 鈴木雅洋 / 小林勇輝 / 田辺 稔 / 根本文也, 他

光学ハイライト

気になる論文コーナー

今後の特集予定

- 51巻 7号「天文学を支える光学技術」
- 51巻 8号「精密光学素子によるX線イメージング」
- 51巻 9号「科学捜査に活用される光技術」
- 51巻 10号「物質最表面を探索する分光技術」
- 51巻 11号「ポイント・オブ・ケア検査のための光学技術」

光学顕微法は、生体内の微細な構造を可視化する手法として、100年以上にわたって生物学・医学に不可欠な研究ツールであり続けています。振動分光法は、試料による赤外光吸収やラマン散乱を検出することで、試料を構成する分子の振動スペクトルを計測する手法として長い歴史をもち、広く使われています。近年、この2つの手法を融合させた振動分光イメージングの分野が世界的に大きく進展し、さまざまな展開をみせています。

本特集号では振動分光イメージングの分野全体を俯瞰する総合報告と、技術的進展や医学・生物学応用に関する解説記事をご執筆いただきました。結果として、この分野の進展を一望できる特集号とすることができたように思います。また、著者の皆様をはじめとする日本の研究者がこの分野を牽引し、存在感を示している様子も改めて実感することができました。本特集号を通じて、より多くの方にこの分野に興味をもっていただき、技術・応用の両面からさらに発展していくことを祈念しています。

最後に、大変お忙しい中、本特集号の記事をご執筆いただいた著者の皆様、企画に多くのご助言をいただいた編集委員の皆様、原稿を取りまとめていただいた編集局に深く感謝申し上げます。(小関, 須藤)

原著論文を募集しています

「光学」では、日本語の原著論文を募集しています。会員・非会員を問わず、自由に投稿できます。皆様の意欲的なご投稿をお待ちしております。

また、上記に加え、特集テーマに関連のある原著論文も募集しています。この場合、採択となった論文はその特集号に合わせて掲載できるよう、査読作業をより迅速化いたします。特集テーマ関連の投稿締切は、当該特集号発行月の4か月前の10日です。特集号を明記のうえご投稿ください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2022 ©

第51巻 第5号 <月刊>

2022年5月10日 発行

定価 1,500円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒173-0004 東京都板橋区板橋 2-65-6

板橋区情報処理センター 5階

E-mail: info@myOSJ.or.jp

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

山本 裕紹*	芦原 聡**	秋葉 教充	白井 文昭
江川麻里子	小関 泰之	小野 雅司	木村 隆志
金高 健二†	黒坂 剛孝	小泉 直也	斎藤 真司
齋藤 直洋	酒井 大輔	下垣 哲也	庄司 暁
杉田 篤史	鈴木 良政	瀬谷 安弘	田上 周路
田代 知範	玉田 洋介	張 開鋒	辻野 賢治†
寺川 光洋	中村 友哉	西館 泉	野崎 昭俊
日達 研一	藤村佳代子	水谷 康弘	水野 洋輔
森本 智英	山中 真仁		

*委員長 **副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 新沢佐和美

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11 常光ビル 7F

有限会社 学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: kogaku@academic-j.co.jp